○注記

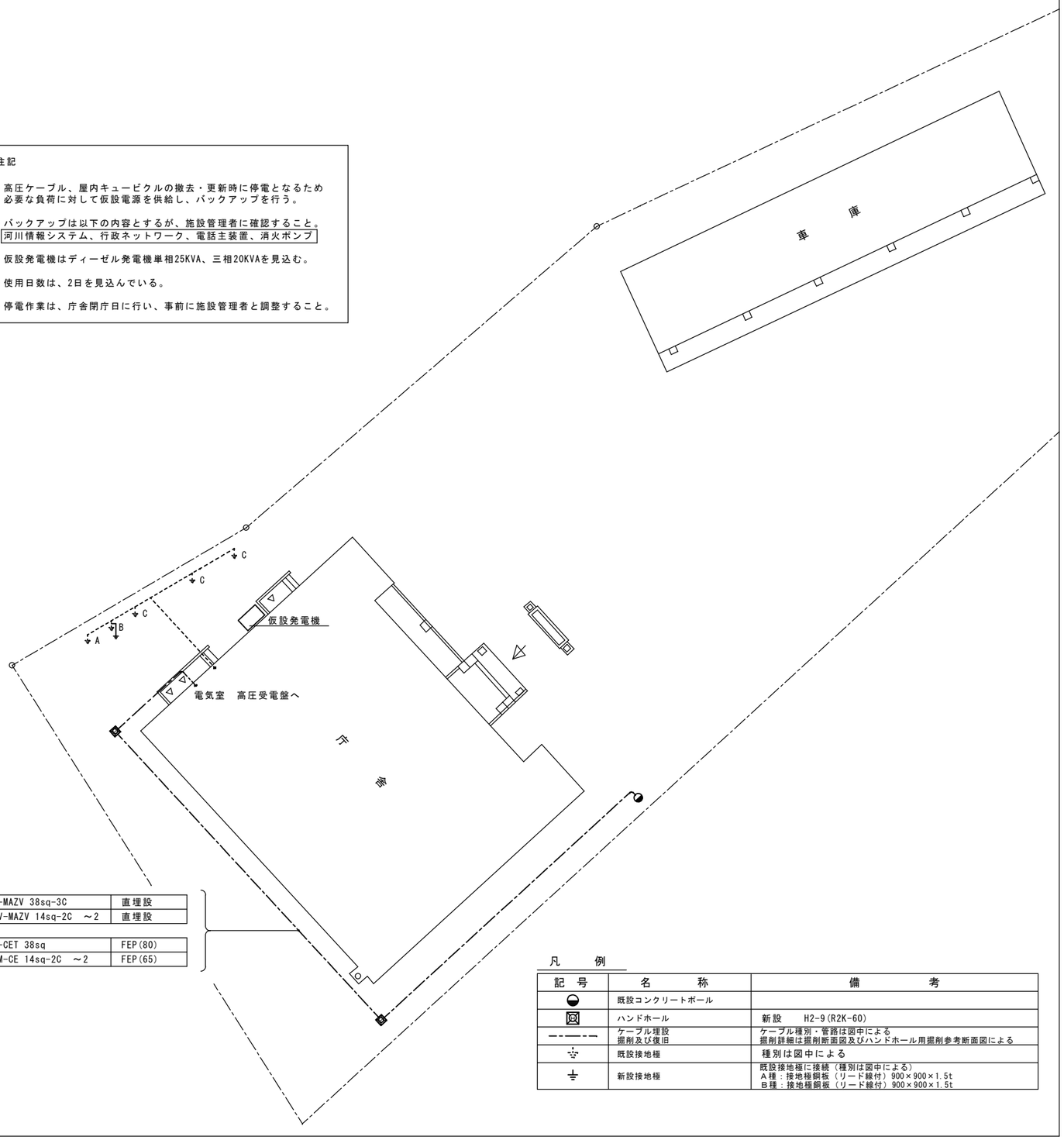
・高圧ケーブル、屋内キュービクルの撤去・更新時に停電となるため必要な負荷に対して仮設電源を供給し、バックアップを行う。

・バックアップは以下の内容とするが、施設管理者に確認すること。
河川情報システム、行政ネットワーク、電話主装置、消火ポンプ

・仮設発電機はディーゼル発電機単相25KVA、三相20KVAを見込む。

・使用日数は、2日を見込んでいる。

・停電作業は、庁舎閉庁日に行い、事前に施設管理者と調整すること。



撤去

6kV CV-MAZV 38sq-3C	直埋設
600V CV-MAZV 14sq-2C　～2	直埋設

新設

6kV EM-CET 38sq	FEP(80)
600V EM-CE 14sq-2C　～2	FEP(65)

凡　例

記　号	名　称	備　考
◒	既設コンクリートポール	
⊠	ハンドホール	新設　H2-9(R2K-60)
―・―・―	ケーブル埋設 掘削及び復旧	ケーブル種別・管路は図中による 掘削詳細は掘削断面図及びハンドホール用掘削参考断面図による
⏚	既設接地極	種別は図中による
⏚	新設接地極	既設接地極に接続（種別は図中による） Ａ種：接地極銅板（リード線付）900×900×1.5t Ｂ種：接地極銅板（リード線付）900×900×1.5t

掘削断面Ａ図Ｓ＝１：３０　撤去及び復旧図

舗装復旧有り

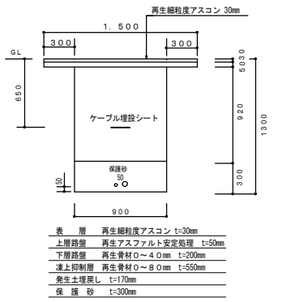
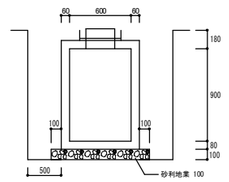
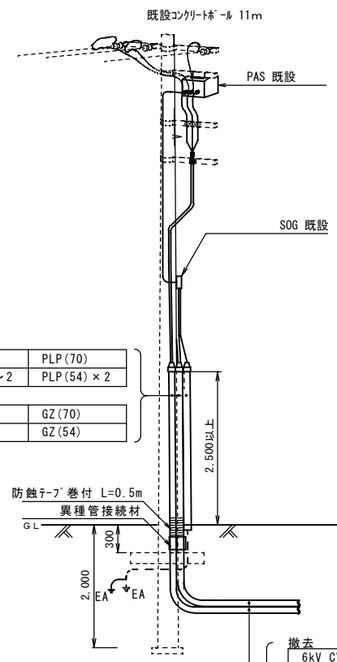


表　層	再生細粒度アスコン t=30mm
上層路盤	再生アスファルト安定処理　t=50mm
下層路盤	再生骨材０～４０mm　t=200mm
凍上抑制層	再生骨材０～８０mm　t=550mm
発生土埋戻し	t=170mm
保　護　砂	t=300mm

ハンドホールH2-9用掘削参考断面図



装　柱　図



構内柱装柱図

撤去

6kV CV-MAZV 38sq-3C	PLP(70)
600V CV-MAZV 14sq-2C　～2	PLP(54)×2

新設

6kV EM-CET 38sq	GZ(70)
600V EM-CE 14sq-2C　～2	GZ(54)

撤去

6kV CV-MAZV 38sq-3C	直埋設
600V CV-MAZV 14sq-2C　～2	直埋設

新設

6kV EM-CET 38sq	FEP(80)
600V EM-CE 14sq-2C　～2	FEP(65)

計画通知書に記載された設計者の記名及び押印					
計画通知用押印欄				法適合確認用押印欄	
代表となる設計者氏名・印	その他の設計者氏名・印　欄			構造設計一級建築士氏名・印	設備設計一級建築士氏名・印
	意匠設計者氏名・印	構造設計者氏名・印	設備設計者氏名・印		

口座名		建築面積		延面積	
所在地		索引番号		図面番号	
構造		調整年月日	令和　年　月　日		
建築番号		調整者職氏名			

共通図　整理番号

整理番号	Ｅ－０２		
	枚ノ内　号		
Ｒ　３年１０月			
年　枚ノ内　号	年　枚ノ内　号		

設計事務所名	株式会社　岩見田設備設計事務所 一級建築士事務所　北海道知事（　石　）　登録第　6061　号 管理建築士　氏名　清　水　　昭　一　　登録第 168421 号						
管理技術者		主任技術者		主任技術者		担当担当者	

設計図名称	電気設備	縮尺	1/200	工事名　北海道後志総合振興局小樽建設管理部庁舎 電気設備改修工事
	構内電線路		—	北海道建設部建築局建築整備課
	撤去・改修図		—	